

第2回市民事業仕分け委員会（地域審議会関係経費）

【質疑・論議】

- 1、 八代市の委員は少ないのではないか。
- 2、 新市建設計画の進捗状況はどうなっているのか。
- 3、 事業のチェック体制はどうなっているのか。
- 4、 どうして、平成22年度は予算額が増えているのか。
- 5、 必要性は高いと思う。予算については、人員削減をしているため、何もいうことはない。ただ、この地域審議会は住民自治がメインになっていると思う。住民自治は、積極的に推進してもらいたい。
- 6、 地域審議会で審議した内容をどうやって伝えていくのか、どのようにして情報を市民流していくのかをしっかりと考える必要がある。
- 7、 地域審議会から出された意見はどのように反映されて、施策に盛り込まれ、その施策が実施されているのか全く見えない。市民に公開する必要があると思う。
- 8、 見直しの時期に来ているような気がする。
- 9、 他にも市長と意見交換する場があるので、二重に開催しているような気がする。
- 10、 旧八代市においては、地域審議会はなくてもいいと思っている。
- 11、 八代地域審議会を廃止することはできるのか。
- 12、 地域審議会の重みはわかる。しかし、地域審議会の議論について、市民は一体どの程度認識しているのか、検証する必要があると思う。アンケート調査でもしてもらいたいと思う。
- 13、 合併して5年も経過しているので、不安解消は解けているような気がする。そこまでして意見を求める必要があるのか。

【個人評価】

◇不要 1人

- ・すでに5年が過ぎており、住民の声を吸い上げる必要があるのか

◇要改善 4人

- ・審議会のニーズを組み上げる審議会になっているとは思えず、行政の報告会になっている感が否めない。本来の設立の趣旨を逸脱しているような感じを受ける。
- ・審議会委員は担当者制として、住民からの意見を吸い上げるような仕組みを考えてもらいたい。
- ・いろんな意見と時間をかけて合併しているので、地域審議会を活かすようにしてもらいたい。
- ・これまでの5年間の成果を出してもらいたい。地域審議会に与えられている期待に応えることによって、必要性が明確になる。

◇現行通 2人

【班評価決定】 要改善

市民事業仕分け結果に対する改善策について

【協議結果】

第2回市民事業仕分けにおいて、地域審議会関係経費について、4点の指摘を受け、その改善策について検討を行った。

地域審議会正副会長会議に諮り、改善に向け取り組んでいくものとする。なお、指摘事項以外においても、適宜、改善を図っていくものとする。

1、指摘部分

- ①審議内容をしっかりと公表するべきである。
- ②住民の意見を吸い上げる方法を考えるべきである。
- ③地域審議会に関するアンケート調査を行うべきである。
- ④報告会になっているので、意見を反映できる仕組みをつくるべきである。

2、改善策

- ①坂本・東陽・泉支所においては、ケーブルテレビにて放映、千丁・鏡支所においては、支所だよりにて審議結果の報告、旧八代地域については、公民館にて掲示板を表示する。
- ②地域審議会の委員は、それぞれ各種団体の代表者であり、その各団体の会議の時に、地域審議会のテーマを提案し、その意見の集約を図ってもらう。
その結果を次回の地域審議会に持ち寄ることとする。また、地域審議会で審議してもらいたいことについても出してもらう。
- ③地域審議会委員を対象とした意識調査を実施し、それを4期目に反映させる。
- ④各部各課における各種計画の策定や市全体に係る新たな制度への取り組み及び施策の変更、見直し等については、地域審議会へ意見を求めるよう周知徹底する。

(1) これまでの取り組み

平成22年

- 8月20日(金) 第2回市民事業仕分け委員会
- 8月25日(水) 第5回支所長会議：報告
- 9月15日(水) 地域審議会担当者会議
- 9月16日(木) 第6回支所長会議：改善方針(案)の確認
- 9月29日(水) 行政改革推進本部にて評価に対する対応方針協議
- 10月4日(月) 地域審議会正副会長会議報告及び提案
- 10月18日(月) 行政改革推進本部にて改善案の確認

平成23年

- 1月12～20日 各地域審議会へ報告

(2) 平成22年10月4日 正副会長会議

■各正副会長意見

- ・住民自治も浸透してきたが、まだまだである。地域審議会で審議する内容を事前協議することは期待したい。
- ・旧八代市は地域審議会の意義と意識が足りないと思う。
- ・地域審議会が開催されなかったということで、議会や市も、我々委員に責任を負わせるのはどうか。
- ・どうして、地域審議会が市民事業仕分けにあがったのか。それこそが理解できない。長い時間をかけて合併を行っており、地域審議会があったから合併が醸成できている。その重みは理解されていないのか。
- ・委員も3期目をしているが、これまでただ会議をして終わるといった感が否めない。なかなか地域の意見が出てこない。
- ・担当者はもちろんであるが、委員も知恵を出して審議会が活発になるように考えないといけない。
- ・地域審議会の初期の目的が達成できるように努力するべきである。
- ・地域審議会のあり方を問われているが、逆にどうして評価されないのか。市はしっかりと市民に報告するべきである。意見が市に反映されているのか、市民の役に立っているのかわからない。
- ・地域審議会の設置をした重みを理解されれば、祭り関係予算について、意見を聞かれるべきであった。地域の切り捨てではないか。
- ・折り返し地点にあり、あと5年は、各地域審議会が活性化するようしっかりと考えるべきである。
- ・会議をしてもあまり意見が出てこない。認知度が少ないと感じている。
- ・私の地域には地域振興会があり、まさに議論している住民自治組織がすでにできて活発に活動しているため、地域審議会の活動に対する認識が低いのだと思う。

- ・今までは町や村の地域の代表者として議員がいたので、話し合っただ進めていたが、今は一人であるため、声になかなか届かないと思う。そのため地域審議会は地域住民と行政を繋ぐ橋渡しをしているため、絶対に必要である。
- ・住民自治は大事なことであり、地域審議会の中でしっかりと議論しないといけないと思う。設立準備委員会を立ち上げると、地域審議会でも意見が活発になると思う。
- ・支所だよりも審議結果を出すと市民もわかるし、委員も凛とした態度で臨むと思う。

■地域審議会の在り方について

- ・事務局（案）で改善を図ることで確認
ただし、4期目については、地域審議会の動機付けをしっかりと行うこととする。